

MUX5002-4D/-8D/-8A

C5000 シリーズ

オーディオ・マルチプレクサ・モジュール

取扱説明書

Ver 1.09



株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。


警告
■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なおいがる、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。


■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。


■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。


■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。


■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。


■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。


■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。


■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。




注意
■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。


■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。


■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。


■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。


■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。


■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。


■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。


■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	6
2. 構成.....	6
3. 機能.....	6
4. ブロック図.....	8
5. 操作説明.....	9
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	9
5-2. フロントモジュール設定.....	11
6. フレームへの取付方法.....	11
7. SNMP.....	12
8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット.....	23
9. コネクタ ピンアサイン表.....	28
10. 定格および電気的特性.....	29
11. お問い合わせ.....	30

1. 概要

- MUX5002-4D は C5000 モジュールシステムに搭載可能な SDI 信号に、デジタル・オーディオ 4 系統 8ch をマルチプレクスするモジュールです。MUX5002-8D はデジタル・オーディオ 8 系統 16ch 、MUX5002-8A はアナログ・オーディオ 8ch をマルチプレクスします。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

MUX5002-4D/-8D/-8A は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

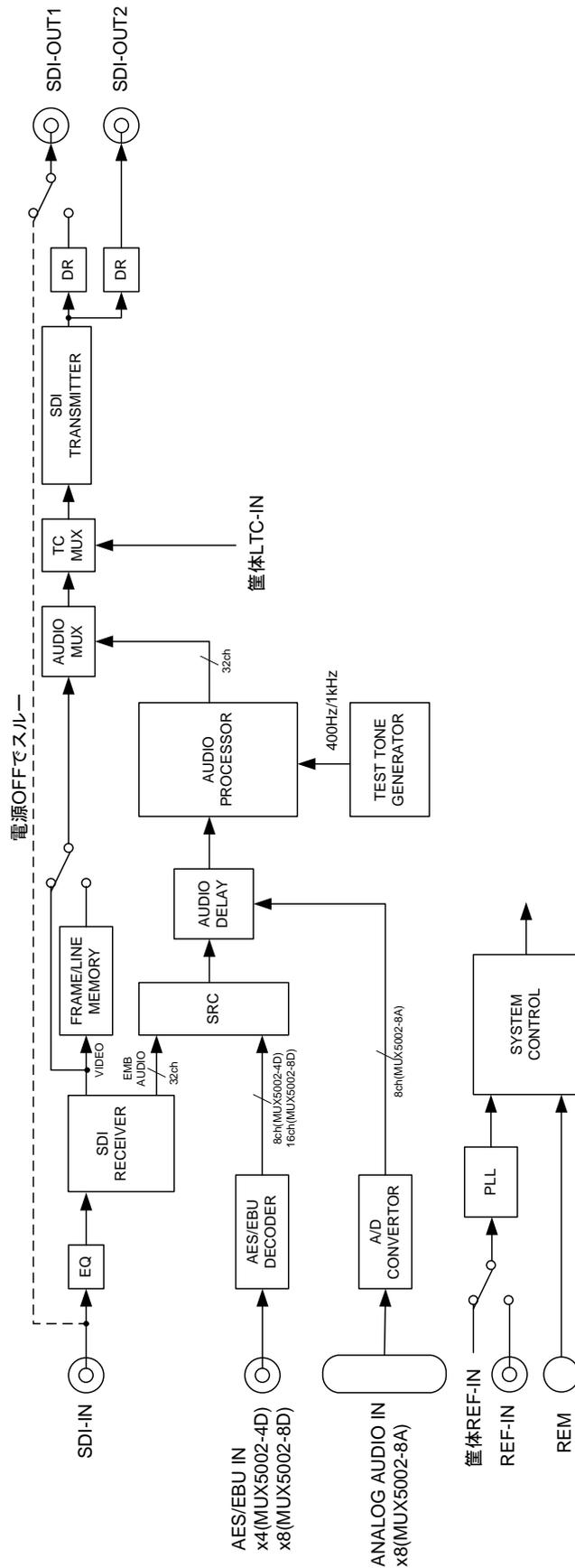
品名	型名	数量	備考
オーディオ・マルチプレクサ・モジュール	MUX5002-4D、 MUX5002-8D 又は MUX5002-8A	1	本体
DSUB-BNC 変換ケーブル	CBL5000-AES8	1	MUX5002-8D
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・ 3G(レベル A/B)/HD/SD-SDI に対応し、入力レートを LED で表示します。点灯色は、「5. 操作説明」を参照してください。
- ・ リファレンス信号の状態を LED で表示します。
- ・ フレーム、ラインシンクロナイズ動作有効時は、スイッチング時の CRC エラー、ラインナンバーエラーを吸収するデグリッチ機能を装備していません。
- ・ 筐体 LTC-IN に入力されたタイムコードを、タイムコードパケット(LTC/VITC)として重畳することができます。
- ・ エマージェンシースルー（電源 OFF 時）に対応します。電源 OFF 時（フロントモジュール未挿入時含む）に SDI-IN が SDI-OUT1 にスルーされます。
- ・ 外部オーディオ入力（デジタル・オーディオ 4 系統 8ch/8 系統 16ch もしくは、アナログ・オーディオ 8ch）と SDI 入力にエンベッドされた音声、テストトーンの中から、32ch のマルチプレクス動作を行います。（SD/HD-SDI は 16ch まで、3G-SDI はレベル A/B 共に 32ch まで対応します。）
- ・ リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス、オーディオ・オーバー機能を装備しています。
- ・ ゲイン調整は、-50.0dB ~ +50.0dB まで、0.1dB 単位で設定可能です。
- ・ 任意チャンネルのミックスは、4ch までの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を 8 通り作成することができます。その 8 通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- ・ デジタル・オーディオ、アナログ・オーディオの基準レベルは設定コマンドで切り替えることができます。
- ・ オーディオ・オーバー機能とは、各出力チャンネルに指定した音声ソースをフェードイン／フェードアウトでミックスする機能です。フェードイン／フェードアウト時間は 0.0 秒～5.0 秒まで 0.1 秒刻みで可変することができます。
- ・ 12 個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードによりプリセットの自動切り替えが可能です。
- ・ 接点入力によるプリセットの切替が可能です。

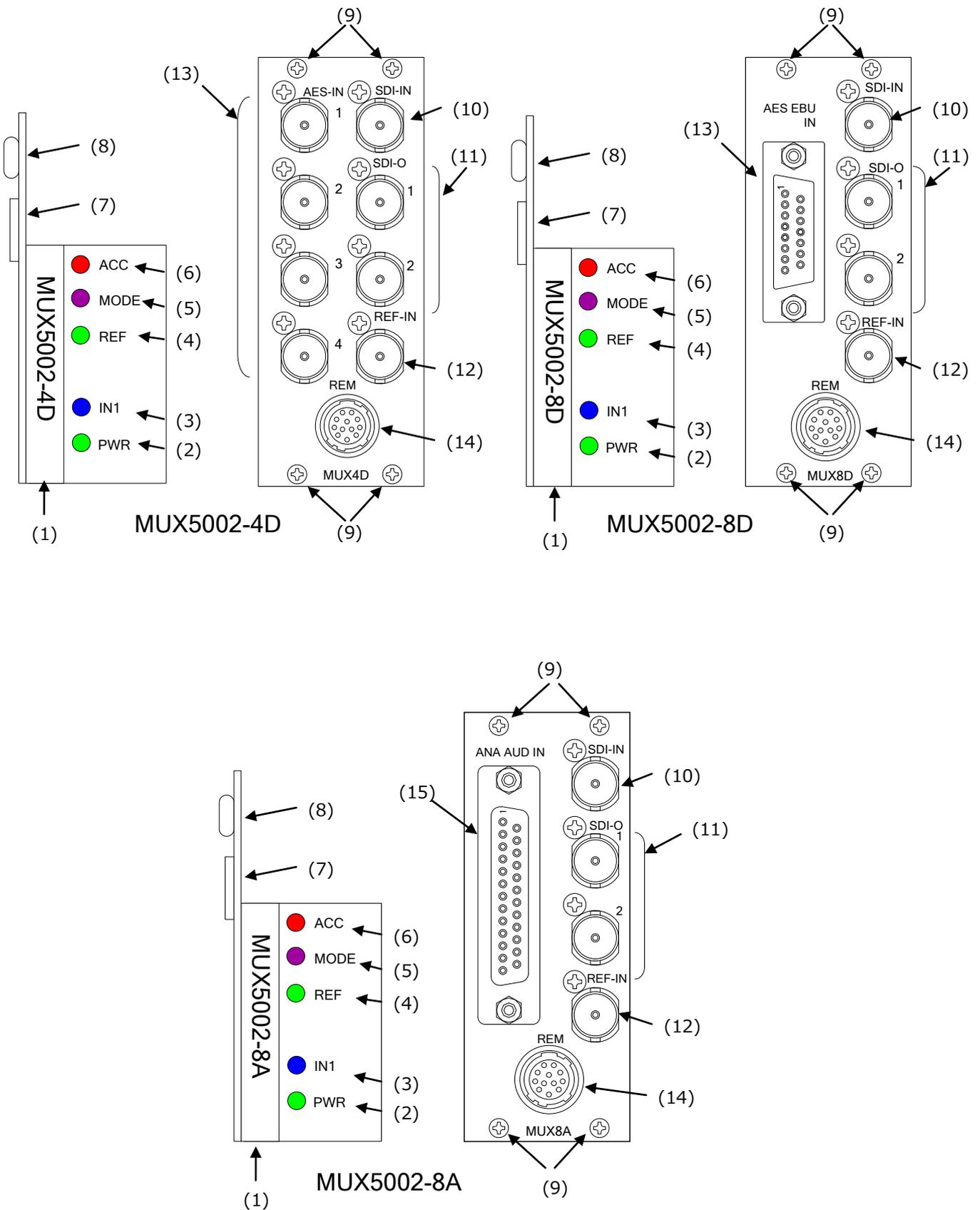
- ・リファレンス信号を入力することにより、非同期信号の入力が可能です。
- ・音声遅延を 0ms～2sec まで 1ms ステップで付加することが可能です。
- ・パラメータの設定は SD カード内の設定ファイルを直接編集、又は SNMP, WEB より設定します。
- ・SNMP に対応しています。

4. ブロック図



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示



- (1)フロントモジュール引き出し取っ手 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)
 (2)電源ランプ 電源投入時 緑点灯 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)
 (3)入力 1 レート LED (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

入力 1 信号のレートを LED 点灯色で表示します。

3G-SDI	----	緑 点灯
HD-SDI	----	青 点灯
SD-SDI/DVB-ASI	----	白 点灯
無信号	----	消灯 (非対応フォーマット含む)

- (4)REF LED(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

リファレンス信号の状態を LED で表示します。

リファレンス正常	----	緑 点灯
リファレンス異常	----	紫 点灯

- (5)MODE LED(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

シンクロナイズ動作には 3 つのモードがあり、どのモードに設定されているか LED で表示します。

フレームシンクロナイズ・モード(FS)	-----	緑 点灯
自動音声ミュート・モード(AAM)	-----	紫 点灯
ラインシンクロナイズ・モード(LINE)	-----	消灯

- (6)SD カードアクセス LED(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

SD カードのアクセス LED です。各種設定は SD カード内の設定ファイルに記述し、電源投入時、及び SD カード挿入時に SD カードからの設定ファイルの読み出しを行います。SD カードへのアクセス中は赤点灯し、読み出し、設定完了後、設定コマンドにエラーがなければ 1 秒間緑点灯、エラーがあった場合は、1 秒間紫点灯します。

- (7)SD カードスロット(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

設定ファイルを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

- (8) マイクロ A/B USB コネクタ (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

内蔵プログラムアップデート用の USB コネクタです。(本バージョンでは未対応)

- (9)リアモジュール固定ネジ 4 カ所 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

- (10)SDI 入力 1 (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

- (11)SDI MUX 出力 1~2(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

オーディオ・マルチプレクスされた SDI 出力が 2 分配出力されます。電源オフ時は、SDI 出力 1 に SDI 入力 1 がスルー出力されます。

- (12) リファレンス入力 REF-IN (MUX5002-4D/8D/8A 共通)

モジュール専用のリファレンス入力が装備されており、筐体に入力されたリファレンス入力に同期させるか、モジュールに入力されたリファレンスに同期させるか選択することができます。

- (13)AES/EBU 入力(MUX5002-4D/8D 共通)

デジタル・オーディオ入力です。MUX5002-4D では 4 系統 8 チャンネル、MUX5002-8D では 8 系統 16 チャンネル入力できます。

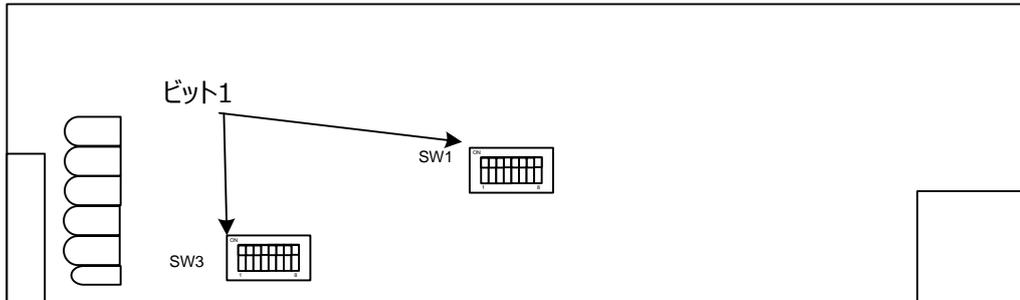
(14)リモート GPIO コネクタ REM(MUX5002-4D/8D/8A 共通)

汎用の GPIO5 入力と汎用の GPIO5 出力です。プリセットの切替、フリーズ動作、スルー動作、音声ミュート、TC 設定等を行うことができます。

(15)アナログ・オーディオ入力コネクタ(MUX5002-8A)

アナログ・バランス・オーディオ入力コネクタです。

5 – 2. フロントモジュール設定



SW1 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

SW3 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1	アナログ音声基準レベル OFF=4dBm、ON=0dBm
2	デジタル音声基準レベル OFF=-20dBFS、ON=-18dBFS
3-8	Reserved

6. フレームへの取付方法

6-1 リアモジュールを取り付けます。

6-2 本モジュールの場合“2 slot”以上の空きを確認して実装します。

6-3 リアモジュールを slot にさしてリアモジュール固定ネジを 4ヶ所ネジ止めします。

6-4 フロントモジュールを挿入します。リアモジュールの slot 番号を確認して 2 slot 分 若い番号のほうにフロントモジュールを挿入します。

7. SNMP

MUX5002-4D/MUX5002-8D/MUX5002-8A は SNMP による監視が可能です。

MUX5002-4D は、[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.11.]、MUX5002-8D は[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.12.]、MUX5002-8A は [1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.13.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1~20、C5001 では 1~6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGER	RO	4	プロダクト ID 情報	MUX5002-4D=11 MUX5002-8D=12, MUX5002-8A=13	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	MUX5002-4D=" MUX5002-4D : 2 slot Digital Audio (4 AES/EBU) Multiplexer Module" MUX5002-8D=" MUX5002-8D : 2 slot Digital Audio (8 AES/EBU) Multiplexer Module" MUX5002-8A=" MUX5002-8A : 2 slot Analog Audio (8 Analog Multiplexer Module"	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGER	RO	4	占有スロット数	2	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エリアス名	–	
In1RelayCtl 20.1.100.index	INTEGER	R/W	4	IN1 リレー設定	off=1, on=2	
RefSel 20.1.102.index	INTEGER	R/W	4	リファレンス選択	module=1, frame =2, freeRun=3, in1=4	
PhaseOffsetH 20.1.103.index	INTEGER	R/W	4	水平方向出力位相	-1920~ 0 ~+1920 (pixel)	
PhaseOffsetV 20.1.104.index	INTEGER	R/W	4	垂直方向出力位相	-600~ 0 ~+600 (line)	
FsMode 20.1.110.index	INTEGER	R/W	4	FS モード	fs=1, line=2, aam=3, bypass=4	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
FreezeCtl 20.1.111.index	INTEGER	R/W	4	フリーズ時の動作制御(OFFは黒画面出力)	off=1, frame=2 , field=3	
AncOut 20.1.112.index	INTEGER	R/W	4	アンシラリィ制御	off=1, on=2	
SysFormat 20.1.113.index	INTEGER	R/W	4	システムフォーマット	auto=1 , f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	
OutAtcLtcEn 20.1.121.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(LTC)の有効/無効	off=1 , on=2	
OutAtcVitcEn 20.1.122.index	INTEGER	R/W	4	出力 ATC(VITC)の有効/無効	off=1 , on=2	
TcSel 20.1.123.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC の動作を設定	int=1 , in1Atc=2, ltc=3	
TcOffsetEn 20.1.124.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット制御	off=1 , on=2	
TcOffsetHH 20.1.125.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(時)	0 ~23	
TcOffsetMM 20.1.126.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(分)	0 ~59	
TcOffsetSS 20.1.127.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0 ~59	
TcOffsetFR 20.1.128.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0 ~2~29	
TcLostAction 20.1.129.index	INTEGER	R/W	4	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	autoRun=1 , stop=2, noPacket=3	
TcInitHH 20.1.130.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(時)	0 ~23	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
TcInitMM 20.1.131.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(分)	0 ~59	
TcInitSS 20.1.132.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(秒)	0 ~59	
TcInitFR 20.1.133.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0 ~29	
TcInitBG1 20.1.134.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG1)	0 ~15	
TcInitBG2 20.1.135.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG2)	0 ~15	
TcInitBG3 20.1.136.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG3)	0 ~15	
TcInitBG4 20.1.137.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0 ~15	
TcInitBG5 20.1.138.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG5)	0 ~15	
TcInitBG6 20.1.139.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG6)	0 ~15	
TcInitBG7 20.1.140.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG7)	0 ~15	
TcInitBG8 20.1.141.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG8)	0 ~15	
TcInitBGF 20.1.142.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値(BG flag)	0 ~7	
TcFrLoadEn 20.1.143.index	INTEGER	R/W	4	内蔵 TC への初期値フレーム 値ロード設定	off=1 , on=2	
TcDropFrEn 20.1.144.index	INTEGER	R/W	4	ドロップフレームの有効/無 効 (自走時のみ有効)	off=1, on=2	
TcInitLoad 20.1.145.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走時、初期値のロード設 定	off=1 , on=2	
TcRunEn 20.1.146.index	INTEGER	R/W	4	TC 自走開始	off=1 , on=2	
EmbOutG1En 20.1.200.index : EmbOutG8En 20.1.207.index	INTEGER	R/W	4	出力エンベデッドオーディオ グループ制御	off=1, on=2 (初期値 G1~G4=on, G5~ G8=off)	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
AmodePchgAuto 20.1.220.index	INTEGER	R/W	4	音声モードによる自動プリセット切替制御	off=1, on=2	
Preset1M 20.1.221.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p01)	
Preset2M 20.1.222.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p02)	
Preset3M 20.1.223.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 3M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p03)	
Preset4M 20.1.224.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 4M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p04)	
Preset1S 20.1.225.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p05)	
Preset2S 20.1.226.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 2S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p06)	
Preset1S2M 20.1.227.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 1S+2M 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p07)	
Preset51 20.1.228.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p08)	
Preset51S 20.1.229.index	INTEGER	R/W	4	音声モード 5.1+S 時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p09)	
PresetOther 20.1.230.index	INTEGER	R/W	4	その他の音声モード時のプリセット	p01=1~p12=12 (初期値 p10)	
Gpi1Func 20.1.240.index : Gpi5Func 20.1.244.index	INTEGER	R/W	4	GPI 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, aoverTake=17, rmtRecTrig=18, non=32	
Gp01Func 20.1.250.index : Gp05Func 20.1.254.index	INTEGER	R/W	4	GPO 機能選択	p01=1~p12=12, freeze=13, through=14, muteOn=15, tcSet=16, aoverTake=17, rmtRecTrig=18, sdiErr=19, refErr=20, ltcErr=21, linErr=22, non=32	
RmtRecCtl 20.1.260.index	INTEGER	R/W	4	SDI リモート録画制御	off=1, on=2	
PresetLoad 20.1.280.index	INTEGER	R/W	4	プリセットロード	p01=1~p12=12, non=13	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
PresetSave 20.1.281.index	INTEGER	R/W	4	プリセットセーブ	p01=1~p12=12, non=13	
CurrentEmb01InGain 20.1.300.index : CurrentEmb32InGain 20.1.331.index	INTEGER	R/W	4	エンベ入力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentExt01InGain 20.1.332.index : CurrentExt16InGain 20.1.347.index	INTEGER	R/W	4	外部入力(AES/ANA)CH のゲ イン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentEmb01OutGain 20.1.350.index : CurrentEmb32OutGain 20.1.381.index	INTEGER	R/W	4	エンベ出力 CH のゲイン調整 (x10dB を設定)	-500~ 0 ~500	
CurrentTT1Amp 20.1.400.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT1Freq 20.1.401.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 1 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2, f1kHz=3 , f2kHz=4	1
CurrentTT2Amp 20.1.402.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 振幅(dB)	-63~- 20 ~0	
CurrentTT2Freq 20.1.403.index	INTEGER	R/W	4	テストトーン 2 周波数	f400Hz=1, f800Hz=2 , f1kHz=3, f2kHz=4	
CurrentRemapCh01 20.1.410.index : CurrentRemapCh32 20.1.441.index	INTEGER	R/W	4	リマップ出力 CH 選択 (外部 出力)	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~mix8=60, non=63 (初期値 Ch01~16=ext01~ ext16. Ch17~32=emb17~ emb32)	
CurrentAudioOverCh01 20.1.450.index : CurrentAudioOverCh32 20.1.481.index	INTEGER	R/W	4	オーディオオーバーCH 選択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, dmxL=51, dmxR=52, mix1=53~ mix8=60, mute=63	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentAudioOverFadeTime 20.1.490.index	INTEGER	R/W	4	オーディオオーバーフェード 時間(*10 秒を設定)	0 ~50	
CurrentAudioOverTake 20.1.491.index	INTEGER	R/W	4	オーディオオーバーテイク	off=1 , on=2	
CurrentDmxSSelCh01 20.1.500.index : CurrentDmxSSelCh32 20.1.531.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス演算 CH ソース 選択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, non=63 (初期値 Ch01~32=emb01~ emb32)	
CurrentDmxLCoefCh01 20.1.532.index : CurrentDmxLCoefCh32 20.1.563.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxRCoefCh01 20.1.564.index : CurrentDmxRCoefCh32 20.1.595.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数(x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentDmxLSignCh01 20.1.600.index : CurrentDmxLSignCh32 20.1.631.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentDmxRSignCh01 20.1.632.index : CurrentDmxRSignCh32 20.1.663.index	INTEGER	R/W	4	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	-1, 1	
CurrentMix1SSelCh01 20.1.700.index : CurrentMix1SSelCh04 20.1.703.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス1 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix1CoefCh01 20.1.704.index : CurrentMix1CoefCh04 20.1.707.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 1 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix2SSelCh01 20.1.710.index : CurrentMix2SSelCh04 20.1.713.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix2CoefCh01 20.1.714.index : CurrentMix2CoefCh04 20.1.717.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 2 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix3SSelCh01 20.1.720.index : CurrentMix3SSelCh04 20.1.723.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix3CoefCh01 20.1.724.index : CurrentMix3CoefCh04 20.1.727.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 3 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix4SSelCh01 20.1.730.index : CurrentMix4SSelCh04 20.1.733.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix4CoefCh01 20.1.734.index : CurrentMix4CoefCh04 20.1.737.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 4 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix5SSelCh01 20.1.740.index : CurrentMix5SSelCh04 20.1.743.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix5CoefCh01 20.1.744.index : CurrentMix5CoefCh04 20.1.747.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 5 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix6SSelCh01 20.1.750.index : CurrentMix6SSelCh04 20.1.753.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix6CoefCh01 20.1.754.index : CurrentMix6CoefCh04 20.1.757.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 6 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix7SSelCh01 20.1.760.index : CurrentMix7SSelCh04 20.1.763.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	
CurrentMix7CoefCh01 20.1.764.index : CurrentMix7CoefCh04 20.1.767.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 7 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentMix8SSelCh01 20.1.770.index : CurrentMix8SSelCh04 20.1.773.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH ソース選 択	emb01=1~emb32=32, ext01=33~ext16=48, tt1=49, tt2=50, mute=63	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
CurrentMix8CoefCh01 20.1.774.index : CurrentMix8CoefCh04 20.1.777.index	INTEGER	R/W	4	音声ミックス 8 CH 係数 (x10dB を設定)	-126~0, Zero=-127	
CurrentAudioDelay 20.1.780.index	INTEGER	R/W	4	音声遅延(ms)	0~ 32 ~2000	
AlarmEnIntComm 20.1.800.index	INTEGER	R/W	4	内部バス通信エラーアラーム イネーブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnSDIIn1Unlock 20.1.802.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックアラーム イネーブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnRefUnlock 20.1.804.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックアラームイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
AlarmEnLtcUnlock 20.1.805.index	INTEGER	R/W	4	Ltc アンロックアラームイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnSDIIn1Unlock 20.1.851.index	INTEGER	R/W	4	SDI IN1 アンロックトラッ プイネーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnRefUnlock 20.1.853.index	INTEGER	R/W	4	REF アンロックトラップイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
TrapEnLtcUnlock 20.1.854.index	INTEGER	R/W	4	LTC アンロックトラップイネ ーブル	disable=1 , enable=2	
SetDefault 20.1.900.index	INTEGER	R/W	4	デフォルト設定に戻す	no=1 , yes=2	
ConfigFileWrite 20.1.901.index	INTEGER	R/W	4	現在の設定をコンフィグ設定 ファイルに書き込む	no=1 , yesP01=2~yesP12=13	
In1 30.1.100.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 のステータス	unlock=1, f525159=2, f625150=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21, f1080P60A=22, f1080P59A=23, f1080P50A=24, f1080P60B=25, f1080P59B=26, f1080P50B=27	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
Ref 30.1.102.index	INTEGER	RO	4	REF のステータス	unlock=1, f525I59=2, f625I50=3, f720P60=4, f720P59=5, f720P50=6, f720P30=7, f720P29=8, f720P25=9, f720P24=10, f720P23=11, f1080I60=12, f1080I59=13, f1080I50=14, f1080P30=15, f1080P29=16, f1080P25=17, f1080P24=18, f1080P23=19, f1080PSF24=20, f1080PSF23=21	
Dipsw1 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw1 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
Dipsw3 30.1.103.index	INTEGER	RO	4	Dipsw3 の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
AlarmIntCommErr 30.1.201.index	INTEGER	RO	4	内部バス通信エラーアラーム ステータス	noErr=1, err=2	
AlarmSdiIn1Unlock 30.1.202.index	INTEGER	RO	4	SDI In1 アンロックアラーム ステータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmRefUnlock 30.1.204.index	INTEGER	RO	4	Ref アンロックアラームステ ータス	lock=1, unlock=2	○
AlarmLtcUnlock 30.1.205.index	INTEGER	RO	4	LTC アンロックアラームステ ータス ※1	lock=1, unlock=2	○

Trap 番号	内容
mux50024dTrapSDIInLock 11.0.1.index mux50028dTrapSDIInLock 12.0.1.index mux50028aTrapSDIInLock 13.0.1.index	SDI がロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapRefLock 11.0.2.index mux50028dTrapRefLock 12.0.2.index mux50028aTrapRefLock 13.0.2.index	リファレンスがロックしたことを示すトラップ

Trap 番号	内容
mux50024dTrapLtcLock 11.0.4.index mux50028dTrapLtcLock 12.0.4.index mux50028aTrapLtcLock 13.0.4.index	LTC がロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapSDIInUnlock 11.0.101.index mux50028dTrapSDIInUnlock 12.0.101.index mux50028aTrapSDIInUnlock 13.0.101.index	SDI がアンロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapRefUnlock 11.0.102.index mux50028dTrapRefUnlock 12.0.102.index mux50028aTrapRefUnlock 13.0.102.index	リファレンスがアンロックしたことを示すトラップ
mux50024dTrapLtcUnlock 11.0.104.index mux50028dTrapLtcUnlock 12.0.104.index mux50028aTrapLtcUnlock 13.0.104.index	LTC がアンロックしたことを示すトラップ

8. コンフィグ設定ファイル・フォーマット

SD カードに“MUX5000_comm.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット共通コンフィグ設定ファイルです。“MUX5000_P01.cfg”～“MUX5000_P12.cfg”のファイル名で格納されているファイルがプリセット毎のコンフィグ設定ファイルです。1行1パラメータとなっており、設定コマンド、パラメータの順に記載します。//以降はコメントとして扱われます。なお、SDカードをフロントモジュールに差し込み、CPU がアクセスすると SD カードアクセス LED がアクセス中、赤点灯します。読み込みエラーがなかった場合は、MODE LED が1秒間緑点灯し、読み込みエラーがあった場合は、1秒間紫点灯します。

記述例)

```
IN1_RL      ON      //      IN1 Relay ON/OFF ON:通常、OFF:スルー
```

以下に、“MUX5000_comm.cfg”の設定コマンド一覧を示します。下記以外のコマンドは無効となり、動作には影響を与えません。

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
IN1_RL	IN1 リレー設定	ON:通常、OFF:スルー	ON
REF_SEL	リファレンス選択	MODULE/FRAME/FREERUN/IN1	FRAME
PHASE_OFFSET_H	水平方向出力位相	-1920～+1920 (pixel)	0
PHASE_OFFSET_V	垂直方向出力位相	-540～+540 (line)	0
FS_MODE	FSモード	FS/LINE/AAM/BYPASS	FS
FREEZE_CTL	フリーズ時の動作制御(OFFは黒画面出力)	FRAME/FIELD/OFF	FRAME
ANC_OUT	アンシラリイ制御	ON:全て通過、OFF:Audioのみ通過	ON
SYSFORMAT	システムフォーマット	AUTO/525I59/625I50/720P60/ 720P59/720P50/720P30/ 720P29/720P25/720P24/ 720P23/1080I60/1080I59/ 1080I50/1080P30/1080P29/ 1080P25/1080P24/1080P23/ 1080PSF24/1080PSF23/ 1080P60A/1080P59A/ 1080P50A/1080P60B/ 1080P59B/1080P50B	AUTO
TC_OFFSET_EN	内蔵 TC のオフセット制御 (TC_SEL=IN1_ATC/LTC 時のみ有効)	ON:イネーブル、OFF:ディスエーブル	OFF
TC_OFFSET_HH	内蔵 TC のオフセット値(時)	0～23	0
TC_OFFSET_MM	内蔵 TC のオフセット値(分)	0～59	0
TC_OFFSET_SS	内蔵 TC のオフセット値(秒)	0～59	0
TC_OFFSET_FR	内蔵 TC のオフセット値(フレーム)	0～29	2

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
TC_INIT_HH	内蔵 TC への初期値(時)	0~23	0
TC_INIT_MM	内蔵 TC への初期値(分)	0~59	0
TC_INIT_SS	内蔵 TC への初期値(秒)	0~59	0
TC_INIT_FR	内蔵 TC への初期値(フレーム)	0~29	0
TC_INIT_BG1	内蔵 TC への初期値(BG1)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG2	内蔵 TC への初期値(BG2)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG3	内蔵 TC への初期値(BG3)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG4	内蔵 TC への初期値(BG4)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG5	内蔵 TC への初期値(BG5)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG6	内蔵 TC への初期値(BG6)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG7	内蔵 TC への初期値(BG7)	0x0~0xf	0x0
TC_INIT_BG8	内蔵 TC への初期値(BG8)	0x0~0xf	0x0
TC_FR_LOAD_EN	内蔵 TC への初期値フレーム値ロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_DROP_FR_EN	ドロップフレームの有効/無効 (自走時のみ有効)	ON:有効、OFF:無効	ON
TC_LOST_ACTION	ATC/LTC 信号ロスト時の動作	AUTO_RUN/STOP/NO_PACKET	AUTO_RUN
TC_SEL	内蔵 TC の動作を設定	IN1_ATC(入力 1 の ATC スル ー)/LTC/INT	INT
TC_INIT_LOAD	TC 自走時、初期値をロード設定	ON:ロード、OFF:ロードしない	OFF
TC_RUN_EN	TC 自走開始	ON:自走、OFF:停止	OFF
OUT_ATC_LTC_EN	出力 ATC(LTC)の有効/無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
OUT_ATC_VITC_EN	出力 ATC(VITC)の有効/無効	ON:有効、OFF:無効	OFF
EMB_OUT_G1_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 1 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G2_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 2 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G3_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 3 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G4_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 4 制御	ON:出力、OFF:未出力	ON
EMB_OUT_G5_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 5 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G6_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 6 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G7_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 7 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
EMB_OUT_G8_EN	出力エンベデッドオーディオ グループ 8 制御	ON:出力、OFF:未出力	OFF
AMODE_PCHG_AUTO	音声モードによる自動プリセット切り替え制御	ON:有効、OFF:無効	OFF
1M_PRESET	音声モード 1M 時のプリセット	P01~P12	P01
2M_PRESET	音声モード 2M 時のプリセット	P01~P12	P02
3M_PRESET	音声モード 3M 時のプリセット	P01~P12	P03
4M_PRESET	音声モード 4M 時のプリセット	P01~P12	P04
1S_PRESET	音声モード 1S 時のプリセット	P01~P12	P05
2S_PRESET	音声モード 2S 時のプリセット	P01~P12	P06
1S+2M_PRESET	音声モード 1S+2M 時のプリセット	P01~P12	P07

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
5.1_PRESET	音声モード 5.1 時のプリセット	P01~P12	P08
5.1+S_PRESET	音声モード 5.1+S 時のプリセット	P01~P12	P09
OTHER_PRESET	その他の音声モード時のプリセット	P01~P12	P10
GPI1_FUNC : GPI5_FUNC	GPI 機能選択	P01~P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/NON	NON
GPO1_FUNC : GPO5_FUNC	GPO 機能選択	P01~P12/FREEZE/THROUGH/ MUTE_ON/TC_SET/ RMT_REC_TRIG/SDI_ERR/ REF_ERR/LTC_ERR/LINE_ERR/ NON	NON
RMT_REC_EN	SDI リモート録画機能	ON:有効、OFF:無効	OFF
PRESET_UPDATE	プリセットファイルを EEPROM にアップデートするかしないか。音声モードによるプリセット切り換えしない場合は OFF を選択	ON:アップデート、OFF:アップデートしない	OFF

以下に、“MUX5000_P01.cfg”～“MUX5000_P12.cfg”の設定コマンド一覧を示します。

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
EMB01IN_GAIN : EMB32IN_GAIN	エンベ入力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0~+50.0	0
EXT01IN_GAIN : EXT16IN_GAIN ※1	外部入力(AES/ANA)CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0~+50.0	0
EMB01OUT_GAIN : EMB32OUT_GAIN	エンベ出力 CH のゲイン調整 (0.1dB ステップ)	-50.0~+50.0	0
TT1_AMP	テストトーン 1 振幅(1dB ステップ)	0~-63 (dBFS)	-20
TT1_FREQ	テストトーン 1 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	1000
TT2_AMP	テストトーン 2 振幅(1dB ステップ)	0~-63 (dBFS)	-20
TT2_FREQ	テストトーン 2 周波数	400/800/1000/2000 (Hz)	800
REMAP_CH01 : REMAP_CH32	リマップ出力 CH 選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/MIX1~MIX8/ MUTE	EXT01~ EXT16 EMB17~ EMB32
DMX_SSEL_CH01 : DMX_SSEL_CH32	ダウンミックス演算 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	EMB01~ EMB32

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
DMX_LCOEF_CH01 : DMX_LCOEF_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
DMX_RCOEF_CH01 : DMX_RCOEF_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数 (0.1dB ステップ)	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
DMX_LSIGN_CH01 : DMX_LSIGN_CH32	ダウンミックス Lch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
DMX_RSIGN_CH01 : DMX_RSIGN_CH32	ダウンミックス Rch 演算 CH 係数符号	+1/-1	1
MIX1_SSEL_CH01 : MIX1_SSEL_CH04	音声ミックス 1 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX1_COEF_CH01 : MIX1_COEF_CH04	音声ミックス 1 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX2_SSEL_CH01 : MIX2_SSEL_CH04	音声ミックス 2 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX2_COEF_CH01 : MIX2_COEF_CH04	音声ミックス 2 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX3_SSEL_CH01 : MIX3_SSEL_CH04	音声ミックス 3 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX3_COEF_CH01 : MIX3_COEF_CH04	音声ミックス 3 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX4_SSEL_CH01 : MIX4_SSEL_CH04	音声ミックス 4 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX4_COEF_CH01 : MIX4_COEF_CH04	音声ミックス 4 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO

設定コマンド	内容	設定パラメータ	Default
MIX5_SSEL_CH01 : MIX5_SSEL_CH04	音声ミックス 5 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX5_COEF_CH01 : MIX5_COEF_CH04	音声ミックス 5 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX6_SSEL_CH01 : MIX6_SSEL_CH04	音声ミックス 6 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX6_COEF_CH01 : MIX6_COEF_CH04	音声ミックス 6 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX7_SSEL_CH01 : MIX7_SSEL_CH04	音声ミックス 7 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX7_COEF_CH01 : MIX7_COEF_CH04	音声ミックス 7 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
MIX8_SSEL_CH01 : MIX8_SSEL_CH04	音声ミックス 8 CH ソース選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/MUTE	MUTE
MIX8_COEF_CH01 : MIX8_COEF_CH04	音声ミックス 8 CH 係数	0~-12.6、ZERO (dB)	ZERO
AUDIO_DELAY	音声遅延(1ms ステップ)	0~2000 (ms)	32
AOVER_CH01 : AOVER_CH32	オーディオオーバーCH 選択	EMB01~EMB32/ EXT01~EXT16/TT1/TT2/ DMX_L/DMX_R/ MIX1~MIX8/MUTE	MUTE
AOVER_FADE_TIME	オーディオオーバーフェード時間	0.0~5.0 (秒)	0.0
AOVER_TAKE	オーディオオーバーテイク	ON:有効、OFF:無効	OFF

9. コネクタ ピンアサイン表

REM ヒロセ電機 HR10A-10R-12S

1	GND	5	GPI4	9	GPO2
2	GPI1	6	+12V OUT	10	GPO3
3	GPI2	7	GPI5	11	GPO4
4	GPI3	8	GPO1	12	GPO5

GPI1～GPI5 メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)

GPO1～GPO5 オープンコレクタ出力(24V/30mA MAX)

+12V OUT +12V(100mA MAX)

ANALOG IN Dsub25ピン(メス)

1	AUDIO_CH8_H	10	AUDIO_CH2_H	18	AUDIO_CH5_H
2	AUDIO_CH8_S	11	AUDIO_CH2_S	19	AUDIO_CH5_S
3	AUDIO_CH7_C	12	AUDIO_CH1_C	20	AUDIO_CH4_C
4	AUDIO_CH6_H	13	N.C.	21	AUDIO_CH3_H
5	AUDIO_CH6_S	14	AUDIO_CH8_C	22	AUDIO_CH3_S
6	AUDIO_CH5_C	15	AUDIO_CH7_H	23	AUDIO_CH2_C
7	AUDIO_CH4_H	16	AUDIO_CH7_S	24	AUDIO_CH1_H
8	AUDIO_CH4_S	17	AUDIO_CH6_C	25	AUDIO_CH1_S
9	AUDIO_CH3_C				

AES/EBU IN Dsub15ピン(メス)

1	AES IN1	6	AES IN6	11	GND
2	AES IN2	7	AES IN7	12	GND
3	AES IN3	8	AES IN8	13	GND
4	AES IN4	9	GND	14	GND
5	AES IN5	10	GND	15	GND

1 0 . 定格および電気的特性

SDI 入力	対応フォーマット(映像)	3G-SDI 1080/ 60p,59.94p,50p (レベル A/B) HD-SDI 1080/ 60i,59.94i,50i,30p,29.97p,25p,24p, 23.98p,24psf,23.98psf 720/ 60p,59.94p,50p,30p,29.97p,25p, 24p,23.98p SD-SDI 525/59i, 625/50i
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling 20bit,24bit 同期音声のみ
	コネクタ	BNCx1
	入力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
SDI 出力	対応フォーマット(映像)	SDI 入力と同じ
	対応フォーマット(音声)	48kHz sampling SD 20bit,3G/HD 24bit
	コネクタ	BNCx2
	出力レベル、インピーダンス	0.8 Vp-p 75 Ω
リファレンス入力	コネクタ	BNCx1
	入力信号、インピーダンス	アナログブラックバースト/3 値シンク 75Ω
AES/EBU 入力 MUX5002-4D, MUX5002-8D	対応フォーマット	32kHz~96kHz sampling 16bit~24bit
	入力レベル、インピーダンス	1.0Vp-p 75Ω
	コネクタ	MUX5002-4D BNCx4 MUX5002-8D Dsub15 ピン(メス)
ANALOG AUDIO 入力 MUX5002-8A	基準入力レベル	0/+4dBm 600Ω平衡
	最大入力レベル	+24dBm
	コネクタ	Dsub25 ピン(メス)
リモート入出力	コネクタ	小型丸形コネクタ 12 ピン x1
占有スロット数	2 スロット	
動作環境	0 °C ~ 40 °C 20 % ~ 85 % (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	MUX5002-4D	9.5W
	MUX5002-8D	9.5W
	MUX5002-8A	14W
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	MUX5002-4D	250g
	MUX5002-8D	250g
	MUX5002-8A	300g



1 1 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <http://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp